



留学生
滞在記

My Life in Tokushima

徳島での生活

大学院創成科学研究科 地域創成専攻 修士課程 2年

陳佳貝

(チン カカイ) [中国]

徳島大学大学院創成科学研究科の陳佳貝と申します。私が徳島大学に来てからもう一年半経ち、時間の流れを早く感じます。大学院へ進学するためいろいろな大学を探していたときに、徳島大学を知りました。大学三年生のときから特別な学校でボランティアをしていたので、母国である中国

のホームスクールとオルタナティブ教育について関心がありました。また、将来の就職に備えて、教育問題について見識を深めたいとも思っていました。それで、大学院で社会学を勉強しようと思い、社会学と教育関連の研究者を検索し、現在の指導教員である矢部先生の研究を知りました。徳島のことを

よく知らなかったのですが、自分の興味のある研究をしたいと思い、徳島大学にきました。社会に存在する問題に対して関心を持ち、その問題解決のためにオリジナルな考え方や分析をすることを、徳島大学で学びました。このようなチャレンジが将来、役立つと信じています。私にとって、



友達と一緒に(筆者:左側)

このアカデミックの道のりは長いですが、大学院での学びや研究を通して、社会における問題を発見し解決に導く能力をしっかりと身につけたいと思っています。

なぜ日本語を勉強したのか、とよく聞かれます。子どものとき、テレビに映る通訳者の姿を見て、語学力の凄さだけでなく見識も高くてカッコいいと感じました。自分もこんな輝いてみえる通訳者になりたいと思います。外国語を専門に選びました。漢字がある日本語に親しみを感じ日本語学科に進学し、「本場の日本語」を学ぶために日本へ来ました。日本にいて、日本語での不自由さは感じません。でも、実際に日本で生活して学べたことがたくさんあります。一人っ子として甘やかされて育ったのですが、親から離れて生活するのが同時に、自国とは違う日本文化を体験することができ、自分が「大人になった」と感じています。コロナ禍で帰国できずホームシックになると、日本で会った友達がいつも親切にしてくれるので、本当に助かっています。

徳島での生活は楽しいです。大阪や神戸といった都会から徳島に戻ると、心が安定して気分が良くなります。人が多く疲れを感じる都会よりも、自然に囲まれ、夜に

は星がきれいに見える徳島のほうが親しみを感じます。自然の多い徳島は、とても魅力的な場所だと思います。自分の将来を考えると、本当に自分は何をしたのか、何ができるのか、まだ答えが見つかっていません。でも、徳島での時間を大切にしながら、有意義な留学生活をしようと思っています。



大塚国際美術館で

指導教員の矢部先生と一緒に